



「半分ちかくの子が、つぎの日の用意をしっかりとできていません。 このままでは、3年生になるのにすごく心ばいです。」

2組では、タブレットの1月20日の「ストリーム」にこのタイトルを記し、「必ずお家の人にも読んでもらってください」とも書いて、子どもたちの忘れ物の多さを訴えました。

「わすれものをする子が多く、また同じものを何日もつづけてもって来ない子が何人もいて、じゅぎょうをするのにこまってしまうことが、たくさんあります。」

「ぜひ、どうしたら次の日の用意を自分でしっかりとできるようになるのか、お家の人と話をして、考えた方法を、コメントに書いてください。そして、ほかの人が考えた方法を読んで、とりいれてみましょう。」

そうして、子どもたちやお家の方から、次のようなコメントが記載されました。(一部のみ)

- ◆帰って来たらすぐにつぎの日のじゅんぴをして、しゅくだいもする。
- ◆帰ってきたら1回じゅんぴをして、夜にもう一回かくにんする。
- ◆宿題が終わったら、次の日のよういをする。朝に、もう1どかくにんする。
- ◆1 わすれものをしないために、おうちの人からきびしくみてもらう。自分でもしっかりと見る。
 - 2 かばんをしっかりと開けて全部とりだして、見おとしがないように見る。
 - 3 ゆびをさしながら「〇〇ある！オッケー」など大きい声で言う。
- ◆前日か朝に親子で一緒に持ち物のかくにんをする。
- ◆前の日の夜にわたしとお母さんで持ち物のかくにんをする。
- ◆(母) 子供の言うことを信じて、持ち物の一部を口頭のみ確認にしてしまった日があった。
→子供に準備をさせた後、毎日必ず物の確認をする。
- ◆(母) 前日までに持ち物を確認しカバンに入れたり、玄関口のところへ準備する。今より早起きチャレンジして時間に余裕もたせる。2回は持ち物を確認したい。 などなど

こうして、子どもたちもコメントを読み合い、持ち物チェックリストを何回も使って、お家の方の協力も得られた結果、現在は、授業の忘れ物や宿題をやっていないなどが、**ほとんど**なくなりました。

お家の方がしっかりと関わってくださったのが、とても効果的だったと思っています。

2年生も終盤に近付き、もうすぐ3年生です。しかし子どもたちの実態からは、自分で明日の用意を整えるには、まだまだご家庭の支援が必要であり、子どもから手を放す(子どもだけに任せる)のは早すぎるようです。

明日の用意をしっかりとやる習慣づくりのために、しばらく継続して子どもたちに手を入れていただきたいと思います。

○来週の行事予定

月	日	曜	主な行事	下校時刻	備考
2	6	月		15:20	5時間授業
	7	火		15:20	5時間授業
	8	水	フッ化物洗口	15:20	5時間授業
	9	木		15:20	5時間授業
	10	金		15:20	5時間授業
	11	土	週休日		
	12	日	週休日		

◆学年だよりは、本校ホームページでもご覧いただけます。